

日本アジア投資株式会社 2020年3月期 第2四半期 決算補足資料

決算発表日：2019年11月14日

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括	P3
2. 当四半期の実績	P4
3. 営業活動の状況	P12
4. 通期の業績予想	P19
5. 参考情報	P21

(ご注意) 本資料内の業績数値は全て従来連結基準にて表示しております。

1. 総括

✓ 当四半期の実績

- 前年同期比：3.5%減収、赤字幅53百万円縮小
- プライベートエクイティ投資の株式評価損が減少

✓ 営業活動の状況

- FIT価格30円台のメガソーラープロジェクトに新規で3件投資実行
- プロジェクト投資のパートナー企業に対する戦略投資を3件実行
- IPO実績2社：(株)ステムリム：8月9日東証マザーズ上場
(株)ピー・ビーシステムズ：9月12日福証Q-Board上場
※第2四半期以降：Fangdd Network Group Ltd. 11月1日Nasdaq上場

✓ 通期の業績予想

- 通期の見込みに変更なし、上期に見込んでいた一部の株式売却益やコンサルティング売上が、下期に実現する見込み
- 第4四半期に株式売却益が集中する見込み、国内の追加IPOにも期待
- 仮に株式売却益が下振れる場合はメガソーラーの売却でカバーする計画

2. 当四半期の実績

ハイライト	P5
営業収益・営業原価内訳	P8
中期経営計画の進捗状況	P9
KPIの進捗状況	P11

2.当四半期の実績-ハイライト P/L

	2019/3期 2Q 実績	2020/3期 2Q 実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
営業収益	716	→ 691	△3.5%
営業原価	638	↓ 582	△8.7%
営業総利益	78	108	39.2%
販管費	543	530	△2.4%
営業利益	△465	△421	-
経常利益	△460	△483	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△534	↑ △481	-

- ✓ 前年同期比：3.5%減収、53百万円赤字幅縮小
- ✓ 営業収益は、他社ファンドからの持分利益の減少を株式売却高の増加が補い、小幅な減収で着地
- ✓ 営業原価のうちプライベートエクイティ投資資産の評価損が減少し、営業総利益が増加、これに伴い最終利益の赤字幅が縮小

2.当四半期の実績-ハイライト B/S

	2019/3期末 実績	2020/3期 2Q 実績	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減率
総資産	17,305	15,761	△8.9%
うち 現預金	5,564	2,825	△49.2%
うち プロジェクト投資資産	5,514	↑6,667	20.9%
うち 戦略投資資産	373	↑ 745	99.9%
うち プライベートエイクイティ投資 資産（戦略投資以外、引当後）	4,765	4,577	△4.0%
借入金	9,784	8,689	△11.2%
自己資本	6,840	6,507	△4.9%
現預金+プロジェクト投資△借入金	1,294	↓ 803	△37.9%

- ✓ プロジェクト投資資産：順調な投資実行により残高が増加
- ✓ 戦略投資資産：3件の投資実行により残高が増加
- ✓ 財務バランス※：投資実行により減少したものの、プラスを維持
（※現預金とプロジェクト投資資産の合計額と、借入金とを比較した財務バランス）

2.当四半期の実績-ハイライト C/F

(単位：百万円)	2019/3期 2Q 実績	2020/3期 2Q 実績
営業活動によるCF	458	△870
投資活動によるCF	65	56
財務活動によるCF	△1,668	△1,095
CF増減額	△1,158	△1,920
期末残高	3,599	2,161

- ✓ 営業CF： 870百万円の支出
投資の実行により支出超過
- ✓ 投資CF： 56百万円の収入
ファンドの償還による収入等が発生
- ✓ 財務CF： 1,095百万円の支出
返済優先の財務対応を改め返済額を減額したため、
マイナス幅が前年同期から減少

2.当四半期の実績－営業収益・営業原価 内訳

(単位：百万円)	合計		プライベートエクイティ投資		プロジェクト投資	
	2019/3期 2Q 実績	2020/3期 2Q 実績	2019/3期 2Q 実績	2020/3期 2Q 実績	2019/3期 2Q 実績	2020/3期 2Q 実績
営業収益	716	691	582	586	133	104
管理運営報酬等	129	107	128	106	0	1
営業投資有価証券売却高	196	406	172	406	23	0
組合持分利益等	367	155	271	66	96	89
その他営業収益	22	20	9	7	13	13
営業原価	638	582	621	531	16	50
営業投資有価証券売却原価	205	356	188	356	16	0
営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	420	160	420	160	-	-
組合持分損失等	8	61	8	11	-	50
その他営業原価	3	2	3	2	-	-
営業総利益	78	108	△39	54	117	54

- ✓ プライベートエクイティ投資：営業総利益が黒字転換
営業収益は、国内上場株式や中国の未上場株式の売却高が増加し、組合持分利益等に含まれる他社ファンド利益の減少分をカバー
営業原価は、前年同期は海外投資先企業に多額の評価損が発生したが、当四半期は減少
- ✓ プロジェクト投資：プロジェクトの売却が無く、加えて、植物工場の先行費用で営業原価のうち組合持分損失等が増加したため、営業総利益が減少

2.当四半期の実績 – 中期経営計画の進捗状況 – プライベートエクイティ投資

項目	施策	進捗状況
既存資産の流動化	IPOによる売却益獲得に加え、未上場株式や営業外の資産も流動化を促進する	<ul style="list-style-type: none"> • 前期にIPO済みの国内株式の売却や、中国の未上場株式の流動化を実現 • 上期に見込んでいた一部の未上場株式や、営業外資産の流動化は、下期の実現を目指す
ファンドの新設	海外進出支援、対日直接投資支援を目的とする2つのファンドを設立する	今期中の設立を目指して、ファンドの投資家候補への募集活動を実施中
ネットワーク、M&A	<ul style="list-style-type: none"> • 社外ネットワーク（国内・アジア）を強化し、グローバル支援体制を構築する • クロスボーダーM&Aを中心としたFA業務への取り組みを開始する 	<ul style="list-style-type: none"> • 中国西安市ハイテク産業区と協力協定を締結、バンコクでは現地のベンチャーキャピタルと協力協定を締結 • アジアのビジネスパートナーからのM&A案件を、当社の国内ネットワークを用いて日本の上場会社向けに提案中
戦略投資	Bankable（金融機関からの負債性資金調達が可能）な新規事業を創出し、プロジェクトへの投資と共に、パートナー企業への戦略投資も行う	<ul style="list-style-type: none"> • 2019年10月に、障がい者向けグループホームの建設プロジェクトを開始 • 3件の戦略投資を実行 ソーシャルインクルー(株)（グループホーム） (株)森久エンジニアリング（植物工場） スマートソーラー(株)（メガソーラー）

2.当四半期の実績－中期経営計画の進捗状況 －プロジェクト投資

項目	施策	進捗状況
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> メガソーラーを最優先として、バイオガス・バイオマスの新規案件にも投資する 高採算案件への投資機会は時限性があるため、積極投資を継続する 	<ul style="list-style-type: none"> メガソーラープロジェクト新規案件3件に投資実行 バイオガス発電所の原料となる廃棄物の、中間処理施設のオペレーターに対して投資を実行
スマートアグリ	植物工場1号案件を軌道に乗せ、後続案件に投資する	<ul style="list-style-type: none"> 1号工場では、大手外食チェーン等の販路開拓に成功し、納品を開始 食の展示商談会「第14回地方銀行フードセレクション」への出展などを通じて、大手コンビニチェーンと商談を開始 今期中の投資実行を目指して、2号工場の建設予定地を選定中
ヘルスケア	件数を追わず採算性を重視し、介護施設開発案件に選別的に投資する	1件のプロジェクトへの投資を決定 開発業者によるプロジェクト全体の組成を待ち、下期に投資実行予定

2.当四半期の実績－KPIの進捗状況

最終目標	2021/3期
最終利益	7億円
ROE	9%

戦略	施策	KPI 2020/3期2Q 実績	KPI 2021/3期 目標
プロジェクト投資 資産からの安定収 益拡大	プロジェクト投資資産残高	67億円	90億円
	プロジェクト投資資産の含み益 (割引前累計利益見込額) ※	83億円	200億円
	現預金とプロジェクト投資資産 の合計額と借入金のバランス	+8億円	+56億円
プライベートエク イティ投資資産他 の入替	戦略投資等以外の資産の早期流 動化・収益化	残高45億円 (引当後)	残高10億円 (引当後)
	・新規投資用のファンド設立 ・戦略投資の実行	残高7億円	残高10億円

※一定の仮定のもとに試算した、当社グループの運営するプロジェクトを保有し続けた場合の累計利益の合計額（割引前の額）

3. 営業活動の状況

プライベートエクイティ投資 P13

プロジェクト投資 P16

投資実行 6社、合計8.2億円



**スマートソーラー
株式会社**

メガソーラープロジェクトの
パートナー企業への戦略投資



**ソーシャルインクルー
株式会社**

障がい者向けグループホーム
プロジェクトのパートナー企業
への戦略投資



株式会社ウエタニ

事業承継ファンドの第1号投資
案件、商業施設内装・オーダー
家具製造の老舗



**株式会社
森久エンジニアリング**

スマートアグリプロジェクト
のパートナー企業への戦略投資

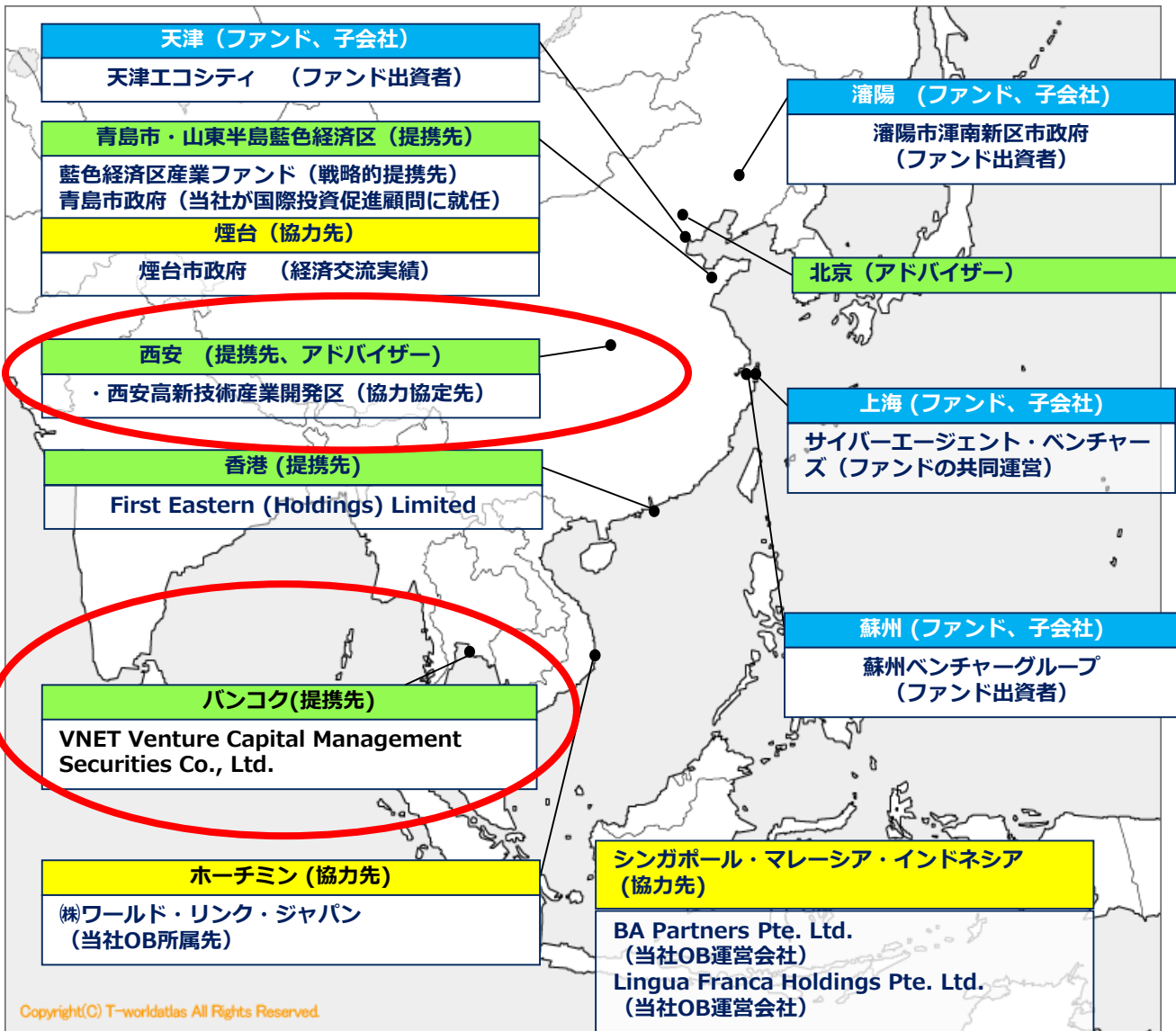


**株式会社
ネーブル・ジャパン**

株式会社第三銀行等が設立した
三重県松阪市の地域商社

他IT関連1社

3. 営業活動の状況 – プライベートエクイティ投資 アジアネットワーク JAIC



- ✓ 当社の強みであるアジアのビジネスネットワークをさらに強化
- ✓ 2019年9月には、中国西安市ハイテク産業開発区と協力協定を締結
- ✓ 今後も、中国の主要な市政府との提携を拡大する方針
- ✓ タイでは現地のベンチャーキャピタル等と協力協定を締結
- ✓ M&A事業の立上げや投資先企業の支援に活用

Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved.



(株)ステムリム

生体内に存在する幹細胞を活性化し、
損傷組織の再生を誘導する医薬品・
医療機器及び遺伝子治療等製品の
研究、開発、製造、販売

上場市場：東証マザーズ（4599）
上場日：2019年8月9日



(株)ピー・ビーシステムズ

企業の基幹システムをクラウド化する
「セキュアクラウドシステム事業」、
VRシアター4D王の製造販売を行う
「エモーショナルシステム事業」

上場市場：福証Q-Board（4447）
上場日：2019年9月12日



Fangdd Network Group Ltd.

中国最大の不動産仲介サイト「房多多」の運営

上場市場：NASDAQグローバル（DUO）
上場日：2019年11月1日

投資実行 6件、合計9.2億円

No.	所在場所	プロジェクト種類	発電容量	特徴
1	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT32円）
2	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT32円）
3	栃木県	太陽光発電所	2.0MW	新規案件（FIT36円）
4	東京都	バイオガス発電所	1.6MW	併設する廃棄物処理施設の オペレーターへの投資
5	兵庫県	植物工場	－	工場の操業資金を追加投資
6	熊本県	太陽光発電所	11.8MW	追加投資（FIT36円）

- ✓ FIT価格30円台のメガソーラープロジェクトへの投資が進捗
- ✓ 植物工場は2020年3月末のフル稼働を目指して順調に操業中

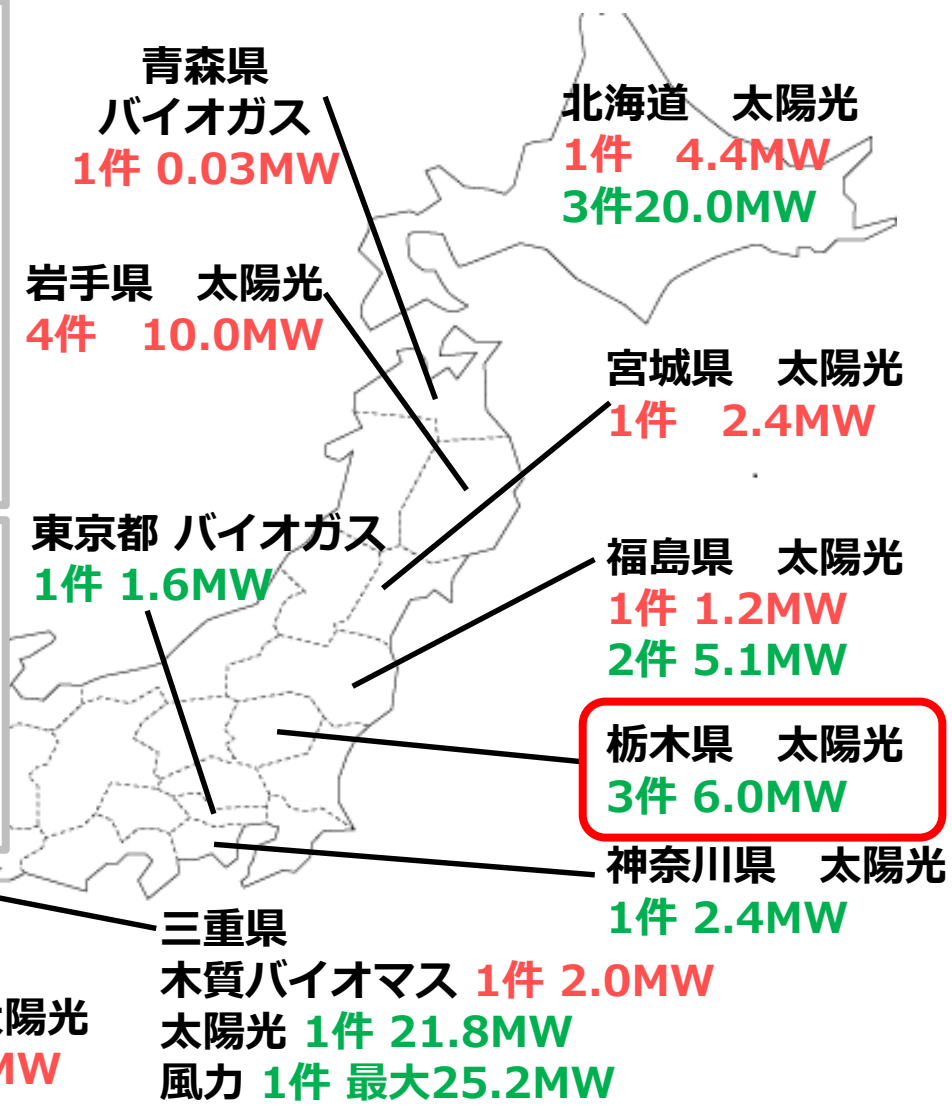
3. 営業活動の状況－プロジェクト投資 再生可能エネルギープロジェクト一覧 (2019年9月末)

メガソーラープロジェクト

売電中	12件	29.8MW
建設・企画中	12件	70.0MW
合計	24件	99.8MW
(うち当社出資持分)		56.4MW)
上記の他		
売却・他回収済	22件	119.7MW

その他再生可能エネルギー

木質バイオマス (売電中)	1件	2.0MW
バイオガス (売電中)	1件	0.03MW
バイオガス (建設中)	1件	1.6MW
風力 (企画中)	1件	最大25.2MW



※各プロジェクトに対する当社の出資比率はプロジェクト毎に異なるため、当社の投資額や当社に帰属する売電収益の金額は、必ずしもプロジェクトのMW数に連動しておりません。

3. 営業活動の状況－プロジェクト投資－ プロジェクトの多様化



発電所完成予想図



羽村バイオガス発電所（東京都羽村市）

- ・食品工場等の有機性廃棄物をメタン発酵させて生成するバイオガスを活用
- ・ガスを取り出した後の廃棄物は質量が減るため、発電所が廃棄物の中間処理施設としても機能する



運営会社の他施設全景

障がい者向けグループホーム
（静岡県浜松市）

- ・障がい者向け小規模集合住宅施設
- ・2020年5月完成予定

2012年
メガ
ソーラー

2016年
・バイオマス
・高齢者施設

2017年
バイオ
ガス



植物工場（兵庫県丹波篠山市）

- ・リーフレタスや結球レタスなどを栽培
- ・外食チェーン企業等への販売を開始
- ・2020年3月末までにフル稼働して単月黒字化を目指す
- ・フル稼働での年間生産量は約200 t、年商は約2億円

2018年
植物工場

2019年
10月
障がい者
施設

今後の
計画
・アジアの
再生エネ
・物流施設

4. 通期の業績予想

- ✓ 業績予想につきましては、当社グループが展開するプライベートエクイティ投資はその事業特性上株式市場等の変動要因による影響が極めて大きく、加えて昨今の変動の激しい環境下においては合理的な業績予想が困難なため、当社は業績予想を行っておりません。
- ✓ しかしながら、投資家及び株主の皆さまの利便に資するべく、業績予想に代えて、ある一定の前提を元に策定した「従来連結基準による見込値」を、数値の合理性は低いものの、参考情報として開示しております。
- ✓ なお、当該「従来連結基準による見込値」をはじめとする本資料に掲載されている全ての将来に関する記述は、当社が現時点において入手している情報及び一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の数値は様々な要因により記述されている内容とは大きく異なる可能性があります。

4. 通期の業績予想

	2020/3期 2Q実績	2020/3期 上期 見込 (2019/5/15発表値)		2020/3期 通期 見込 (2019/5/15発表値)	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	達成率	金額 (百万円)	進捗率
営業収益	691	600	115.2%	3,500	19.8%
営業原価	582	290	200.8%	1,600	36.4%
営業総利益	108	310	35.2%	1,900	5.7%
販管費	530	550	96.5%	1,100	48.2%
営業利益	△421	△240	-	800	-
経常利益	△483	△320	-	650	-
親会社株主に帰属する当期純利益	△481	△330	-	500	-

- ✓ 通期の見込みに変更なし
- ✓ 上期実績は、2019/10/31に下方修正した上期見込みどおりに着地
- ✓ 上期利益の下振れは、主に未上場株式の売却時期が下期へずれ込んだため
- ✓ 株式売却益が第4四半期に集中発生する見込み
- ✓ 国内で投資先企業からの追加のIPOにも期待
- ✓ 仮に株式売却益が下振れた場合には、メガソーラーの売却でカバーの予定

5. 参考情報

プロジェクト投資の案件一覧	P22
プライベートエクイティ投資 投資残高内訳	P24
ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係	P25
主要データの推移	P26
営業収益・営業原価 内訳	P28
JAICの強み	P29
収益構造	P30
会社概要	P32

プロジェクト投資 案件一覧-1 (2019年9月末)



プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト外総額
メガソーラー 発電	1	熊本県球磨郡錦町	3.1	売電中 (2015年12月売電開始)	40	約10.5億円
	2	一関市藤沢町太陽光発電所	2.3	売電中 (2016年9月売電開始)	36	約7.3億円
	3	野間池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2017年5月売電開始)	36	約8億円
	4	福島猪苗代太陽光発電所	1.2	売電中 (2017年9月売電開始)	36	約3.4億円
	5	御田神辺池ソーラー発電所	1.5	売電中 (2017年9月売電開始)	32	約5億円
	6	岩手一関ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年1月売電開始)	36	約8億円
	7	帯広ソーラーパーク	4.4	売電中 (2018年3月売電開始)	40	約22億円
	8	中王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年4月売電開始)	36	約8.6億円
	9	一関市吉高太陽光発電所	2.6	売電中 (2018年6月売電開始)	36	-
	10	東王田池ソーラー発電所	2.4	売電中 (2018年7月売電開始)	36	約8.6億円
	11	一関市鈴ヶ沢太陽光発電所	2.7	売電中 (2018年10月売電開始)	36	-
	12	加美ソーラーパーク	2.4	売電中 (2018年10月売電開始)	36	約9.6億円
	13	北海道紋別市弘道太陽光発電所	15.7	建設・企画中	40	約66億円
	14	北海道	2.0	建設・企画中	36	-
	15	三重県	21.8	建設・企画中	24	-
	16	福島県	2.4	建設・企画中	32	-
	17	福島県	2.7	建設・企画中	40	-
	18	熊本県	11.8	建設・企画中	36	-
	19	北海道	2.3	建設・企画中	40	-
	20	神奈川県	2.4	建設・企画中	32	-
	21	福岡県	2.9	建設・企画中	36	-
	22	栃木県	2.0	建設・企画中	36	-
	23	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
	24	栃木県	2.0	建設・企画中	32	-
合計99.8MW (うち当社出資持分 56.4MW)						

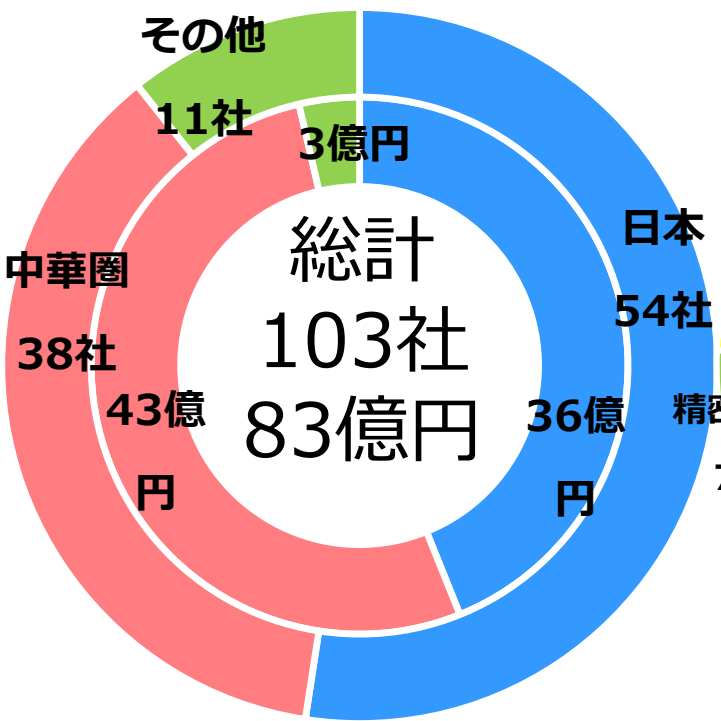
プロジェクト投資 案件一覧-2 (2019年9月末)



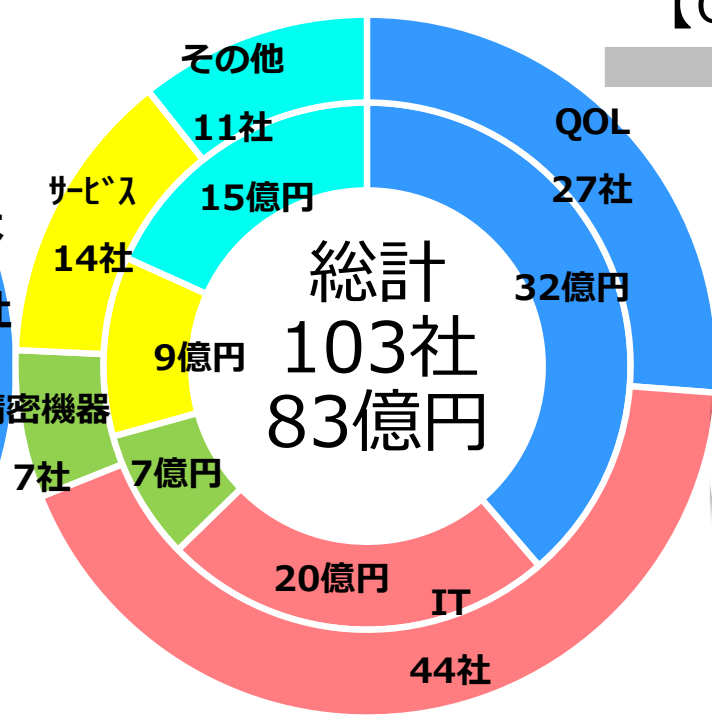
プロジェクト種類		発電所名/所在地	発電容量 (MW)	プロジェクト進捗状況	FIT (税抜、円)	プロジェクト外総額
木質バイオマス発電		三重県松阪市	2.0	売電中 (2018年1月売電開始)	-	-
バイオガス発電	1	東京都	1.6	建設・企画 併設する廃棄物中間処理施設のオペレーター	39 -	- -
	2	青森東北町発電所		0.03	売電中 (2018年11月売電開始)	39
風力発電		三重県	最大25.2	建設・企画中	22	-
植物工場		兵庫県丹波篠山市	-	操業中 (2019年3月操業開始)	-	約7億円

投資残高 103社、合計83億円

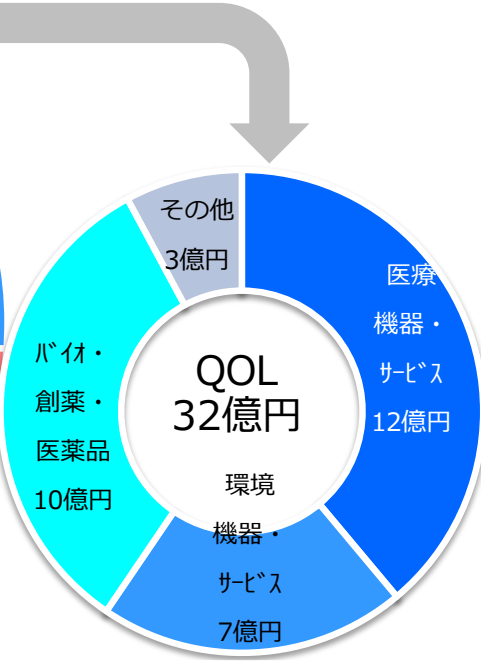
【地域別内訳】



【業種別内訳】

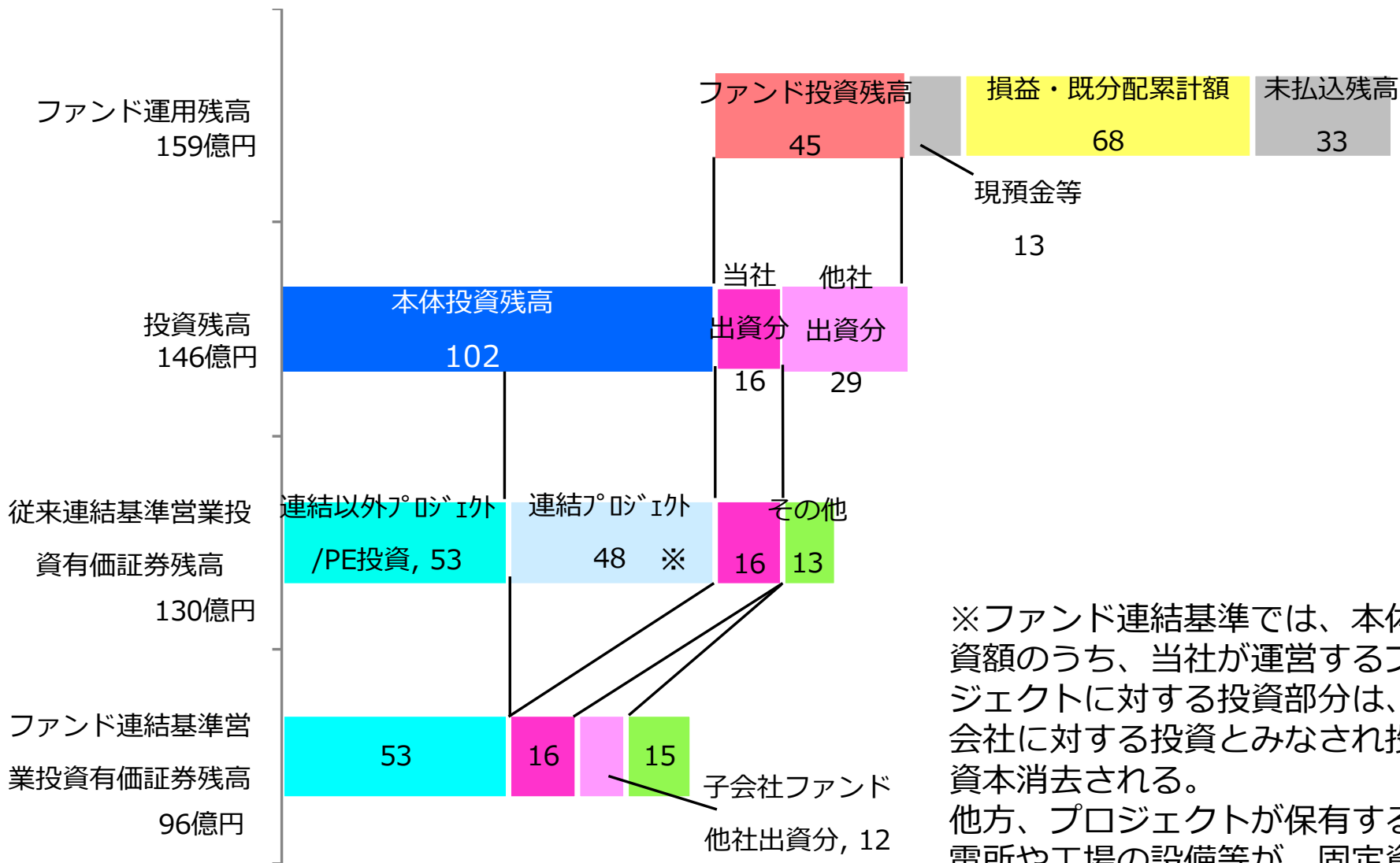


【QOL内訳】



1社当たり平均投資金額：
 日本67百万円、中華圏114百万円/QOL118百万円、IT45百万円

ファンド運用残高・投資残高・営業投資有価証券残高の関係



※ファンド連結基準では、本体投資額のうち、当社が運営するプロジェクトに対する投資部分は、子会社に対する投資とみなされ投資資本消去される。他方、プロジェクトが保有する発電所や工場の設備等が、固定資産に計上される。

主要データの推移 ①

・ファンドの状況、投資の状況

(単位：百万円)	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(2Q)	20/3(2Q)
ファンド設立・増加額	-	5,201	500	1,000	2,000	600	-
ファンド運用残高	43,897	39,335	28,753	19,150	16,494	17,329	15,948
うち 当社グループ出資額		14,004	9,427	5,867	5,344	5,584	5,131
投資実行額 (プライベートエクイティ投資)	1,470	1,304	1,131	1,205	136	106	824
投資残高 (プライベートエクイティ投資)	18,385	15,061	11,981	10,398	8,437	8,812	8,260
投資実行額 (プロジェクト投資)	1,257	2,788	3,184	2,681	3,612	1,353	920
投資残高 (プロジェクト投資)	1,337	3,722	4,576	3,582	5,514	4,672	6,418

主要データの推移 ②

・業績、財務状況

(単位：百万円)	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(2Q)	20/3(2Q)
業績							
営業収益	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	716	691
営業総利益	882	1,554	2,176	2,328	1,286	78	108
販売費及び一般管理費	1,433	1,472	1,339	1,311	1,109	543	530
営業利益	△550	82	836	1,017	177	△465	△421
経常利益	△610	612	726	954	83	△460	△483
親会社株主に帰属する当期純利益	△850	597	553	874	578	△534	△481
財務状況							
現預金	9,437	8,202	6,213	7,308	5,564	4,885	2,825
営業投資有価証券（プロジェクト投資）	1,337	3,722	4,081	3,582	5,514	4,672	6,667
営業投資有価証券（戦略投資投資）	-	100	100	373	373	373	745
引当後 営業投資有価証券 （戦略投資以外のプライベートエクイティ投資）	10,364	8,126	7,256	5,657	4,765	5,074	4,577
借入金	20,193	16,910	14,128	11,954	9,784	10,288	8,689
自己資本	3,373	4,976	5,686	6,545	6,840	5,986	6,507
総資産	24,396	22,680	20,305	19,220	17,305	16,941	15,761

営業収益・営業原価 内訳



(単位：百万円)		15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	19/3(2Q)	20/3(2Q)	増減率(%)
1.	投資事業組合等管理業務								
	管理運営報酬等	571	441	364	277	241	129	107	△16.7%
	成功報酬	63	288	101	86	-	-	-	-
	営業収益	634	729	466	364	241	129	107	△16.7%
	営業原価	-	-	-	-	-	-	-	-
	営業総利益	634	729	466	364	241	129	107	△16.7%
2.	投資業務								
	営業投資有価証券売却高	3,651	2,954	2,275	3,219	1,746	196	406	107.3%
	組合持分利益等	193	345	1,159	1,677	429	367	155	△57.6%
	営業収益	3,844	3,300	3,434	4,897	2,176	563	562	△0.2%
	営業投資有価証券売却原価	1,767	1,863	1,423	2,469	554	205	356	73.9%
	営業投資有価証券評価損・ 投資損失引当金繰入額	1,704	569	274	562	579	420	160	△61.7%
	組合持分損失等	168	47	46	36	49	8	61	618.4%
	営業原価	3,640	2,481	1,744	3,069	1,182	634	579	△8.6%
	営業総利益	203	818	1,690	1,827	993	△70	△16	-
3.	その他								
	営業収益	53	13	25	142	57	22	20	△10.3%
	営業原価	9	7	6	5	6	3	2	△30.4%
	営業総利益	44	5	19	136	51	19	18	△6.5%
合計									
	連結営業収益	4,532	4,043	3,926	5,403	2,475	716	691	△3.5%
	連結営業原価	3,650	2,488	1,750	3,074	1,188	638	582	△8.7%
	連結営業総利益	882	1,554	2,176	2,328	1,286	78	108	39.2%

JAICの強み

投資候補となる企業やプロジェクトの発掘を通じて、専門性の高い、業界の最先端の動向を把握しています。

最先端の
業界情報収集力

アジアでの歴史

1981年に経済同友会を母体に設立されて以来、35年に亘り日本とアジアの経済交流に貢献し、アジアでの高い知名度を有しています。

JAIC

ファイナンス
スキーム構築力

ベンチャー企業との
ネットワーク

国内外で300社超の上場実績を有し、これまでの投資活動を通じて、多数のベンチャー企業と親密な関係を構築しています。

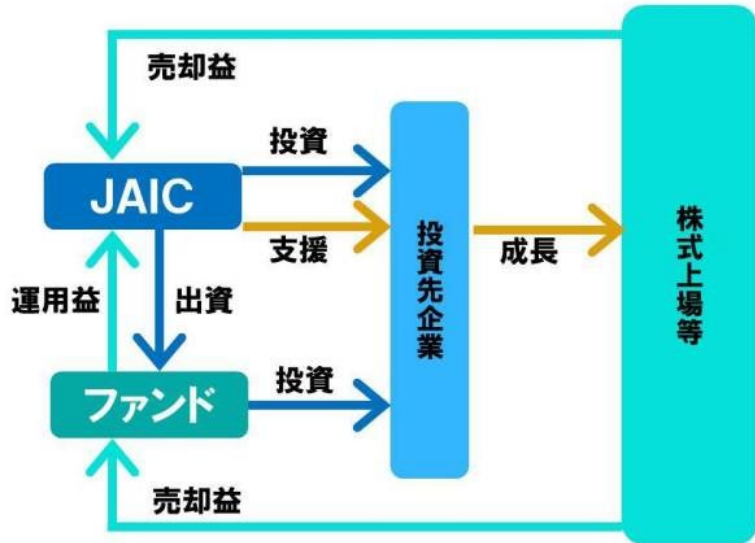
そのネットワークを、投資先企業の支援や、当社が新規事業テーマを開拓する際のアライアンスに活用します。

国内外で3,300億円の累計投資実績を有しています。

プロジェクト投資事業では、当社からの投資資金だけでなく、プロジェクトファイナンスなどの融資資金も交えた調達スキームを構築しています。

収益構造 - 投資業務

●投資業務：プライベートエクイティ

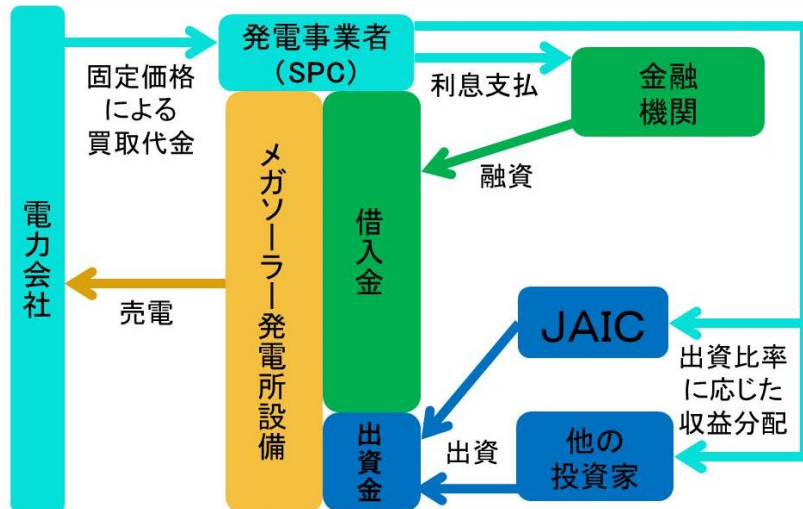


投資資金は、

- ・ J A I C 自身の手元資金からの拠出
- ・ ファンドを通じて国内外のファンド出資者から運用を委託された資金の2通りがあります

ファンドには、JAIC自身も一部出資し、出資比率に応じた運用益を獲得します。

●投資業務：再生可能エネルギープロジェクト



発電事業者は、発電所建設資金を、

- ・ J A I C、他の投資家の出資金
 - ・ 金融機関からの借入金
- の2通りで調達し、発電所を保有します。

発電した電力は、固定価格で電力会社買い取られます

J A I C等の投資家は、出資比率に応じて、売電を源泉とした安定収益を獲得します

● 投資事業組合等（ファンド）の管理業務



ファンドの管理業務では、

- ・ 経常的な管理・運営に対して受領する管理報酬
- ・ ファンドのパフォーマンスに応じて受領する成功報酬

の2種類の報酬があります

会社概要（2019年9月末現在）

商号	日本アジア投資株式会社	（略称）JAIC
本社所在地	東京都千代田区神田錦町三丁目11番地	
設立年月日	1981年7月10日	
資本金	5,426百万円	
株式上場市場	東京証券取引所 市場第一部	（証券コード：8518）
従業員数	単体21名／連結39名	
事業領域	プライベートエクイティ投資、プロジェクト投資	
役員	取締役会長（独立社外）	川俣 喜昭 : 取締役会議長
	代表取締役社長	下村 哲朗
	取締役（執行役員）	八田 正史
	取締役	大森 和徳 : 監査等委員長
	取締役（独立社外）	安川 均 : 監査等委員
	取締役（独立社外）	沼波 正 : 監査等委員
	取締役（独立社外）	片桐 春美 : 監査等委員

JAIC

日本アジア投資株式会社

〒101-8570 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 精興竹橋共同ビル

代表 T e l (03) 3259-8518 F a x (03) 3259-8511

<http://www.jaic-vc.co.jp>

I Rに関するお問合せ先：

執行役員 岸本

管理グループ 丸山

I Rに関するお問合せアドレス：ir@jaic-vc.co.jp

(ご注意) 本資料に記載された事項は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。また、今後予告なしに変更されることがあります。本資料に含まれる意見や予測などについては、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご留意下さい。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的とするものではありません。なお、本資料内の業績数値は全て従来連結ベースにて表示しております。